（様式１）

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間	令和　8　年度 ～ 令和　10　年度	
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容
	8	遊休施設の稼働停止、照明器具のLED＋人感センサー化、 蒸気配管保温施工・更新、蒸気トラップの計画的診断及び取替
	9	遊休施設の稼働停止、照明器具のLED＋人感センサー化、 蒸気配管保温施工・更新、蒸気トラップの計画的診断及び取替
	10	遊休施設の稼働停止、 蒸気配管保温施工・更新、蒸気トラップの計画的診断及び取替

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標			
温室効果ガスの吸収等	区　分		目標年度（令和　10　年度） 二酸化炭素換算(t)
	□ 森林の整備等		$t-CO_2$
	□ 経済的手法の活用		$t-CO_2$
		グリーン電力証書の購入	$t-CO_2$
		グリーン熱証書の購入	$t-CO_2$
		オフセット・クレジットの購入	$t-CO_2$
		国内クレジットの購入	$t-CO_2$
		Ｊ－クレジットの購入	$t-CO_2$
		非化石証書の購入	$t-CO_2$
	合　計		①　$t-CO_2$

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標				
温室効果ガスの排出の抑制	区　分	基準年度 （令和　7　年度）	目標年度 （令和　10　年度）	対基準年度比 （%）
	温室効果ガス排出量	(二酸化炭素換算(t))② 7,017　$t-CO_2$	(二酸化炭素換算(t))③ 6,800　$t-CO_2$	96.9
	□ 差引排出量　A	(二酸化炭素換算(t))② 7,017　$t-CO_2$	(二酸化炭素換算(t))③-① 6,800　$t-CO_2$	96.9
	☑ 原単位排出量　A／B	0.17 $t-CO_2／m^2$	0.164 $t-CO_2／m^2$	96.5
	温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値　B	41349 m^2 （補正延床面積）	41349 m^2 （補正延床面積）	100.0
	目標設定に関する説明	「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」欄に記載の項目をはじめ、各種合理化案件の推進により、基準年度に対して3%以上、原単位排出量の低減を行う。		

特記事項	対象施設の一部に、一般財団法人阪大微生物病研究会が所有し、株式会社BIKENが使用している製造関連の施設を含む。

(注)

1　「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。

2　「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3　「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量Ａ／Ｂ」を選択した場合においても「差引排出量　Ａ」の値は記入すること。

4　「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量（原単位排出量）を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。

5　「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。